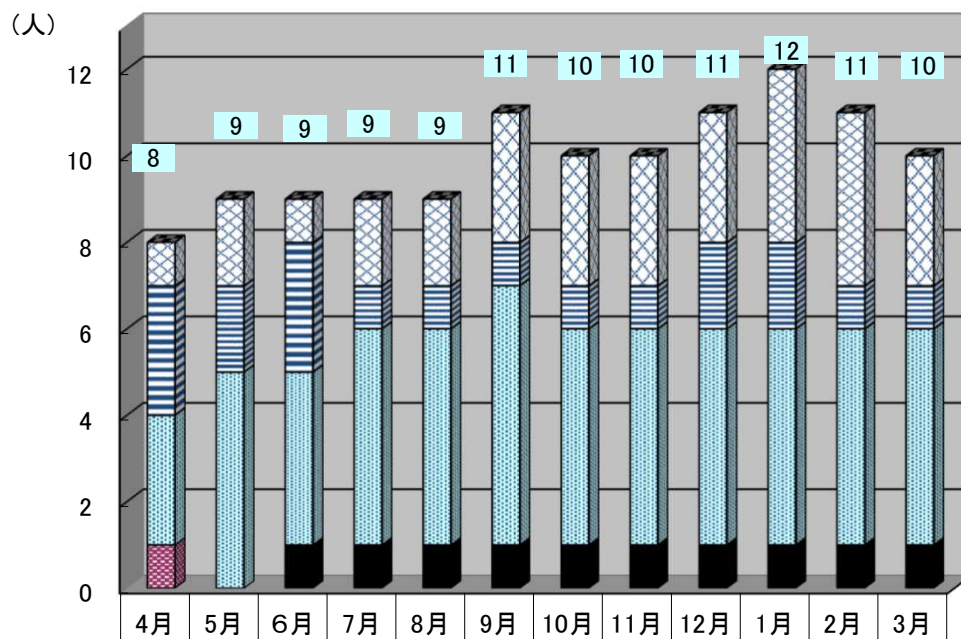


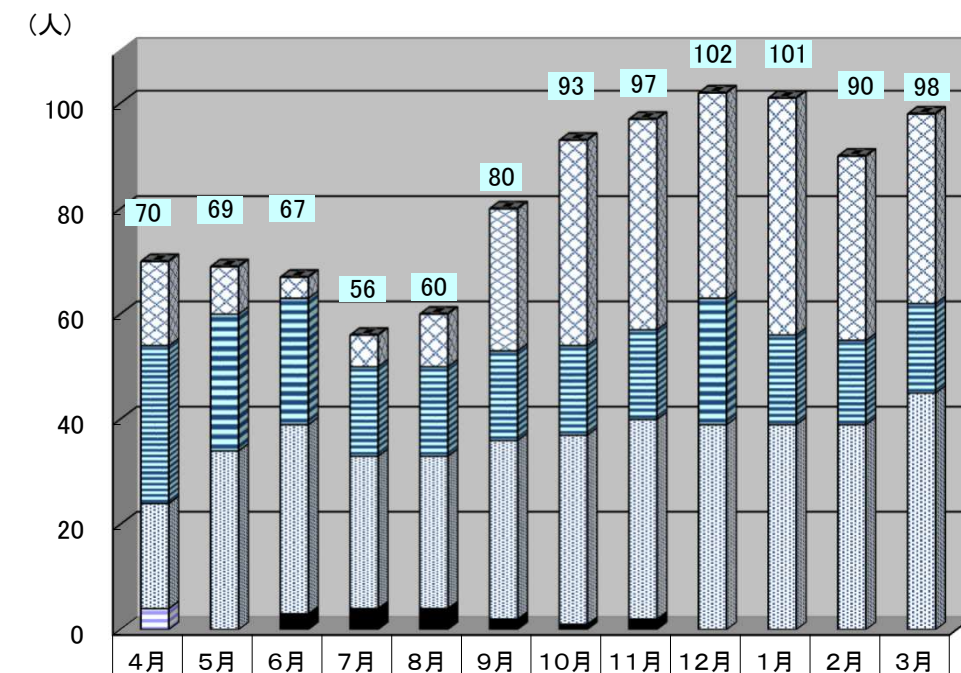
令和 7 年度 事業報告書

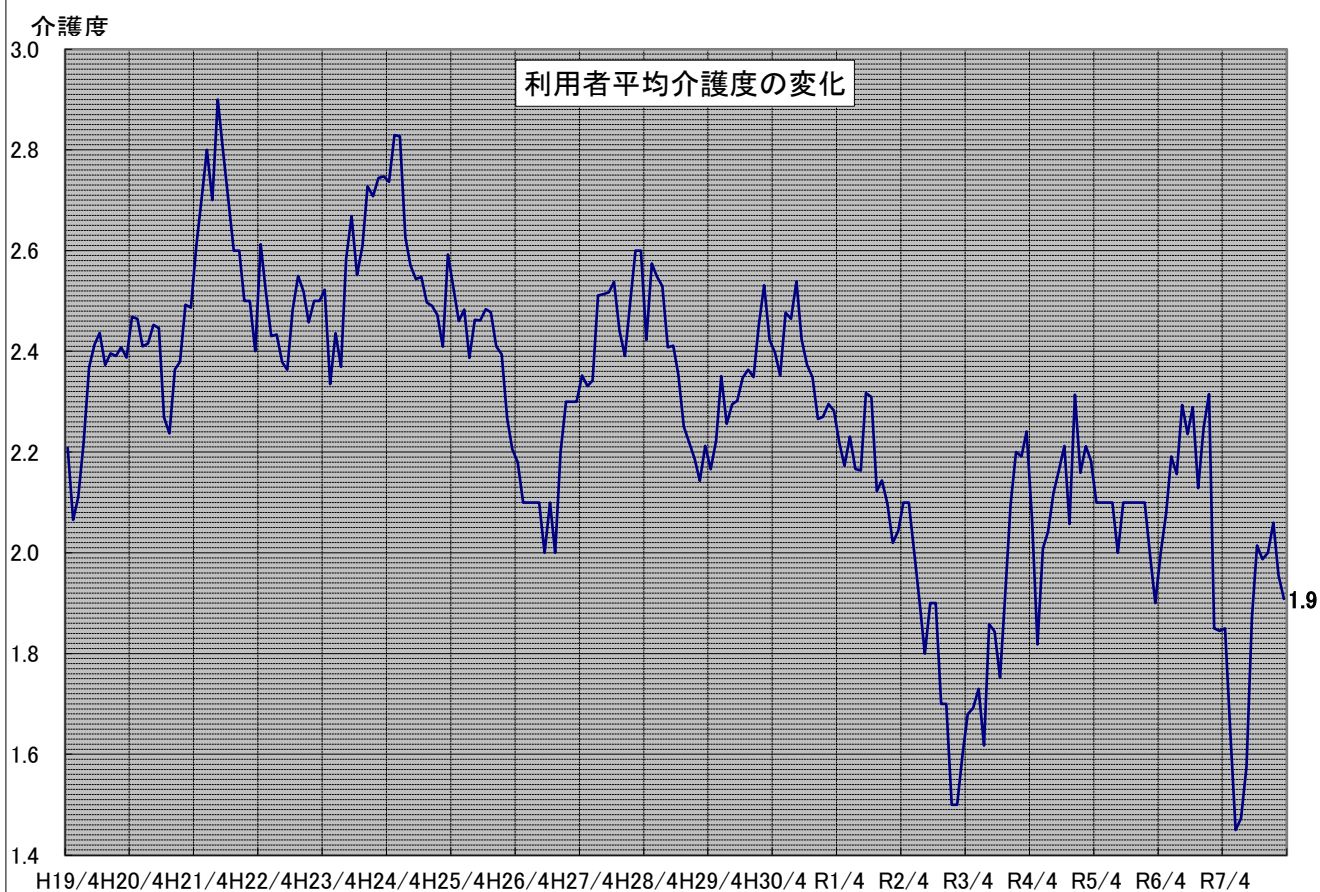
デイサービスセンターやまもも

介護度別利用者数



介護度別延利用者数





●今年度重点目標の達成状況

重点目標	達成状況及び次年度へ向けて
① それぞれ受講した研修を共有し、知識をより深めて仕事に対するモチベーションを上げる。	研修ソフトでの研修はほとんど受講できなかった。家に帰って個人で視聴することはあったが、職員間で共有する事はできなかった。次年度は月に1回は研修ソフトを活用し、個々に受講した研修内容を職員間で共有していく。
② 利用者同士の関わりに職員が入って個別性を尊重しながら、関係性を豊かにしていく。	職員が利用者の間に入り話題の提供や話を繋ぐことでより会話が弾み、以前よりも利用者同士の会話が増えたように感じる。耳が聴こえにくい利用者の間に入ることで利用者同士のコミュニケーションも円滑にできた。
③ 「報告・連絡・相談」を意識し情報の共有化に努め、職員のチームワークを高める。	利用者の体調、環境の変化等があればその都度、職員間で報告・相談し合い早期に対応する事ができた。情報をすぐに伝え合うようにしていたが、休みの職員に伝え忘れることがあり、報告が遅れる事もあった。今後は報告を確実にする為に、申し送りシートを活用し情報を共有していく。

●通所介護サービス評価基準 サービス評価一覧表 〈 令和 7 年 12 月 20 職員会議にて作成 〉

● サービス評価項目(一覧表)【凡例】

評価結果	○:実施できている △:実施できているが不十分 ×:実施できていない				
改善の必要性	a:既に着手している	b:早急(本年度中)	c:来年度以降に改善に着手	d:改善の必要性和実現可能性の検討に着手	e:当面、改善に着手しない

● △又は×の評価項目 ※NO が太字下線付きの項目は基本項目

NO	評価基準の具体的内容	評価結果	改善の必要性
17	日曜日、その他の休日に対応できる体制ですか。	×	e
<u>20</u>	生きがい対応型デイサービス事業に取り組んでいますか。	—	e
21	身体障害者も対象に含めた相互利用事業に取り組んでいますか。	—	e
59	第三者評価を積極的に受け入れて、必要な業務改善を行っていますか。	×	e
84	職員の調査研究の指導や研究発表を推進していますか。	×	e
87	事業者の意見が、市町村老人保健福祉計画・介護保険事業計画等の行政計画や施策に反映されるように保険者への働きかけに努めていますか	×	e
91	地域での介護教室の開催や、介護者会への参加等、地域との交流に努めていますか。	×	c

※ 法人・事業所として実施の考えのない項目の評価結果については(×)ではなく、(—)で記載。

	評価結果			改善の必要性				
	○	△	× 又は —	a	b	c	d	e
令和 2年度	82	2	7	0	1	3	2	3
令和 3年度	82	2	8	0	0	1	1	4
令和 4年度	80	3	8	0	0	5	1	5
令和 5年度	82	0	9	0	0	1	2	6
令和 6年度	84	1	6	0	0	0	1	6
令和 7年度	84	0	7	0	0	1	0	6

評価結果 “△”+“× 又は —” = 改善の必要性項目の総数

令和7年度 事業報告(行事活動状況、ボランティア、研修等)

●活動状況報告

行事・活動名	実施日	実施場所	参加利用者	家族・ボランティア等
花見ドライブ	4月 3日(木)	大田方面	4名	
	4月 8日(火)	出雲方面	4名	
チューリップ見学	4月11日(金)	斐川	4名	
山野草展見学	4月19日(土)	多伎文化伝習館	3名	
遠足	5月 8日(木)	花の郷	3名	
カキツバタ見学	5月31日(土)	姫逃池	2名	
かたら団子作り	6月 2日(月)	やまもも	3名	
銭太鼓見学	6月 5日(木)	はなんぼ	4名	ボランティア来所
菖蒲見学	6月 9日(月)	浜遊自然館	3名	
	6月13日(金)		2名	
	6月14日(土)		2名	
	6月16日(月)		4名	
写真展見学	6月20日(金)	多伎文化伝習館	4名	
	6月21日(土)		3名	
ハス見学	6月30日(月)	荒神谷遺跡	4名	
	7月 4日(金)	十楽寺	2名	
七夕会	7月 7日(月)	やまもも	3名	
風ラン展見学	7月11日(金)	多伎文化伝習館	3名	
	7月12日(土)		2名	
ひまわり見学	8月 1日(金)	出雲方面	3名	
	8月 2日(土)		2名	
	8月 4日(月)		3名	
盆団子作り	8月11日(月)	やまもも	3名	
水墨画作品展見学	9月 4日(木)	多伎文化伝習館	4名	
敬老会	9月15日(月)	花の郷	3名	
	9月16日(火)		3名	
	9月19日(金)		3名	
書道展見学	9月20日(土)	多伎文化伝習館	3名	
おはぎ作り	9月22日(月)	やまもも	4名	
	9月25日(木)		5名	
運動会	10月16日(木)	やまもも	6名	
防災訓練	10月23日(木)	やまもも	6名	
カラオケボランティア	10月23日(木)	やまもも	5名	ボランティア来所
盆栽・山野草展見学	10月25日(土)	多伎文化伝習館	4名	
遠足	10月27日(月)	一畑薬師	6名	
	10月30日(木)	出雲大社	6名	
	11月 7日(金)	島根ワイナリー	4名	

紅葉ドライブ	11月20日(木)	佐田・三瓶方面	6名	
	11月21日(金)	三瓶方面	4名	
コレクション展見学	11月22日(土)	多伎伝習館	4名	
イチョウ見学	12月1日(月)	浄善寺(池田町)	5名	
クリスマス会	12月19日(金)	やまもも	4名	
	12月25日(木)		5名	
初詣	1月16日(金)	物部神社	5名	
	1月17日(土)	日御碕神社	4名	
節分会	2月3日(火)	やまもも	5名	
竹・わら細工展見学	2月26日(木)	多伎文化伝習館	6名	
	2月27日(金)		4名	
ひな祭り会	3月3日(火)	やまもも	5名	
歌・銭太鼓ボランティア	3月5日(木)	やまもも	7名	ボランティア来所
消防避難訓練	3月10日(火)	はなんば・やまもも合同	5名	
人形展見学	3月19日(木)	多伎文化伝習館	6名	
	3月20日(金)		2名	
ぼた餅づくり	3月23日(火)	やまもも	4名	
	3月26日(木)		7名	

※こども園との交流の実施はしなかった

●ボランティア等

※11月16日(日)の窓拭きボランティアはやまももの参加は中止。

●苦情対応

内容	なし
----	----

●その他

広報活動	機関誌の発行2回
------	----------

●研修実施状況

実施月	研修会名	講師	参加職種	参加人数	日数
6月	感染症及び食中毒の予防及びびまん延の防止に関する研修・訓練	看護職員	全職種	3名	1日
7月	リスクマネジメント研修	介護職員	全職種	3名	1日
8月	高齢者虐待防止の研修	介護職員	全職種	3名	1日
10月	感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修・訓練[法人合同の防災訓練(地震・津波)]	看護職員	全職種	5名	1日
11月	プライバシー保護についての研修	介護職員	全職種	3名	1日
12月	身体拘束適正化推進に関する研修	介護職員	全職種	3名	1日
1月	入浴介助に関する研修	介護職員	全職種	3名	1日
2月	認知症に関する研修	介護職員	全職種	3名	1日

デイサービスセンターやまもも 運営推進会議

開催回数	開催場所	出席者	会議の内容	
2回	・グループホーム はなんぼの里	●運営推進会議委員 ・家族代表2名 ・地域住民の代表2名 ・高齢者あんしん支援センター職員 ・はなんぼの里施設長(やまもも所長) ・潮風苑施設長 ●やまもも生活相談員	毎 回	・利用者状況報告 ・活動状況報告 ・行事予定について ・意見交換
			随 時	5月 ・令和6年度事業報告について
			随 時	1月 ・次年度事業について

◎ 報告書概要（会議の内容）

（令和7年度）

	会議の内容…評価、要望、意見、助言等
5月27日	●利用者状況・活動状況・今後の行事予定について ○ 高齢者あんしん支援センターより やまももの利用者がかなり減っていますが、職員が足りずこのような受け入れ状況になっているのですか。 ⇒ 施設より 職員数は十分に満たされています。日によっては、ご利用者の人数よりも職員の方が多きこともあります。昨年の同時期と比較しても利用される方は減っています。ご家族が体調を崩され、在宅での生活を継続することができなくなり施設入所された方や利用を通常のデイサービスのみに限定された方もおられます。やまももはこれまで利用される方が増えたり減ったりを繰り返してきましたが、これだけ少ないことはなかったかと思ひます。市内の認知症対応型のデイサービスでも利用者が減っており、休止や廃業を余儀なくされるところも増えました。現在ある出雲市における認知症対応型のデイサービスの中でも、やまももは一番ご利用者が少ない状況です。立地条件もあると思ひますが、単価が高いということもご利用される方からするとネックにはなっていると思ひます。ただ、現在の状況を逆手に取ると、少人数だからこそより手厚いサービスを提供することが可能です。他のデイサービスに比べ、外出する機会も多く設けていますし、その方に合ったケアを提供することもできます。とはいっても現在の状況では運営していけなくなりますので、やまももの強みを活かしたり、新たな強みとなる部分を見出し、単価以上の価値を生み出さないといけな思ひます。これに加え、通常のデイサービスにはないゆったりした空間が認知症の方にとってより安心して過ごしていただけるというメリットを多伎の居宅をはじめ、他の介護支援事業所にもアピールし理解していただき、サービス利用に繋げていきたいと思ひます。 ○ 家族の代表より 日曜日はやっておりますか。お盆や年末年始はどうですか。 ⇒ 施設より やまももの営業日は水・日曜日以外となっています。お盆期間中は通常通り営業しますが、年末年始はお休みさせていただきます。ご利用者の需要に応じて日曜日などの営業も考えなくてはならないと思ひますが、現在のところそういった需要はないようです。
1月27日	●利用者状況・活動状況・今後の行事予定について ○ 地域住民の代表より やまももを利用する人が少ないのはなぜですか。 ⇒ 施設より やまももは一日最大12名の利用が可能です。開所当初は多い時で10名近く利用されていました。利用者も町内の方が多かったです。介護の認定調査で認知症高齢者の日常生活自立度という認知症の症状について段階別示したのがありますが、数字が大きくなるほど症状が重くなります。かつては、たき居宅介護支援事業所が関わりを持った利用者の中でも認知症の自立度がⅢ以上の方が多く利用されていました。近年では自宅で何とかやっていた程度の症状の方が多くなったと実感しています。市内の認知デイも利用される方がおられず、事業所自体をやめられたところも何か所もあります。 また、認知デイは専門性を有し少人数で手厚い介護を受けられるという特色から、利用単価が通常のデイと比較すると高いということもあります。その方にとって、認知デイの方が合っているのではないかと勧めても、単価の問題で本人やご家族が通常のデイを選ばれるということも実情としてあります。要介護度が低いとデイサービスを利用する必要性が少なく、通常のデイでも利用者数は減少しています。一方で近隣に老健がないためか、リハビリの需要は高まっており、一日の定員数を超えるほどの申し込みがあります。

そもそも高齢者が減ってきています。新聞のお悔やみ欄を見ても、人口は松江市の方が圧倒的に多く、高齢者に関しても出雲市よりは多いはずですが、お亡くなりになるのは出雲市在住の高齢者が圧倒的に多いです。市内の高齢者の減少も関係しているのではないかと感じています。認知デイは地域密着型のサービスであるため、数キロメートル行けば大田市ですが、出雲市に住所がある方に限られますので、そういった面においても利用が限られていると思います。

○ 家族の代表より

やまももはリハビリ施設ではないですが、父が通わせていただいて感じたことは、いつまでも歩けるように体操をしたり、できることは自分でできるようにしてもらっており、リハビリという形でなくとも生活の中でできることを継続して行っているようにしてもらっています。主治医からは、「歩くならデイサービスよりデイケアに」と勧められましたが、家族としては80代後半になってもリハビリが必要なのかと思い、やまももを利用させていただきました。利用する人にとっては「デイサービスに行く」と言うのと「リハビリに行く」というのでは抵抗感が違っているのだと感じます。しかし、やまももに通ったことで生活の中でのリハビリも重要に感じていますので、そういったことも含めアピールされたいのかなと思います。

○ 地域住民の代表より

やまももの利用料が高いのは、特別な専門的なケアをしているからですか。

⇒ 施設より

利用単価は施設で決めているわけではなく、手厚いケアを行える事業所として国の方針で決まっています。

○ 家族の代表より

通所系の調整会議がなされ、法人内で利用状況の確認や利用する本人にとって適切なサービスを調整することに取り組まれたことはとても良いことだと思います。あんしん支援センターに会議に参加してもらってはどうか。

⇒ 施設より

まだ、法人内の会議だけにとどまっており、3ヶ月に1回の頻度で開催しています。あんしん支援センターや居宅介護支援事業所、ホームページにも空き状況に加え掲載するなど、3事業所合同で毎月通所便りを出していますが、こういった会議にあんしん支援センターの参加があれば、利用されるとっかかりとなるのではないかと感じています。

⇒ あんしん支援センターの職員より

調整会議については、毎回は難しいかもしれませんが相談してみます。近年、大田市の社協と包括支援センターと年2回程度、情報共有を図っています。近隣の大田市のデイサービスでも利用者が減ってきていますが、多伎の郷の情報も共有させていただいています。通所に関して区域外送迎については費用が発生するということを伝えると、それがネックになっているという現状があります。

⇒ 施設より

区域外送迎にかかる費用は、あんしんさんが言われたようにネックになっている可能性もある

と思います。今年度やまももと小田のデイサービスについては廃止しました。たき居宅介護支援事業が説明を行ううえでネックに感じていました。デイケアに関しては、近隣にそういった事業所がないためか費用はかかっても需要があり、隣町の方からも沢山利用されているという現状があります。そのためデイケアに関しては、引き続き区域外送迎費はいただいています。

○ 家族の代表より

年に2回法人の機関誌をいただくのですが、家族にも配布があれば嬉しいです。

⇒ 施設より

毎月お渡ししていきたいと思います。

●次年度事業について

○ 施設より

次年度の重点目標を2点挙げました。昨年度、研修動画を取り入れてもらいましたが、活用できていないことが多かったため、次年度も同じく研修に関する目標を掲げ、知識を深め、職員の仕事に対するモチベーションを上げていきたいと思っています。2点目は、今年度はできる限り色々なところに出席したり、田儀の祭りには今年度初めて花折りに参加させていただき、地域の方と交流することに努めました。次年度は、地域のごみ拾いなどご利用者と参加し、地域交流のきっかけ作りに力を入れたいと思います。また、ボランティアの受け入れについても積極的に行い、ご利用者が利用する目的として、楽しみのある機会を提供していこうと思っています。